

年会長講演

5月30日(水) 9:15~9:30 第1会場

座長：今井 輝子 (熊本大学)

患者ベネフィットに貢献するサステナブル薬剤学

並木 徳之

(静岡県立大学 薬学部)

特別講演1

5月30日(水) 14:45~15:45 第1会場

座長：賀川 義之 (静岡県立大学)

医療イノベーションの実現をめざして
~臨床研究法導入を飛躍の転換点となすために~

渡邊 裕司

(浜松医科大学 医学部)

特別講演2

5月31日(木) 11:15~12:15 第1会場

座長：箱守 正志 (アステラス製薬株式会社)

The influence of pharmaceutical product design on efficacy and patient compliance

Henk Mollee

(Astellas Europe B.V. Pharmaceutical technology)

招待講演1

5月30日(水) 13:45~14:45 第1会場

座長：竹内 洋文 (岐阜薬科大学)

経鼻投与によるオキシトシンの自閉スペクトラム症の社会性障害への効果：
小腸のオキシトシントランスポーター分子から薬理効果を再考する

東田 陽博

(金沢大学子どもこころの発達研究センター)

招待講演2

5月31日(木) 15:15~16:15 第1会場

座長：山下 伸二 (摂南大学)

Advancing the Science of Oral Solid Dosage Form Development and Performance

Gregory E. Amidon

(University of Michigan)

受賞講演（日本薬剤学会賞）

5月31日(木) 14:45～15:15 第1会場

座長：橋田 充（京都大学）

Better Drugs Faster－効率的な経口剤開発のための理論構築とその実践－

山下 伸二

（摂南大学 薬学部）

受賞講演（日本薬剤学会奨励賞）

6月1日(金) 9:15～9:35 第1会場

座長：菊池 寛（エーザイ株式会社）

臨床応用を目指したDDS製剤の研究開発

兵頭 健治

（エーザイ株式会社 hhcデータクリエーションセンター ナノメディスン研究室）

受賞講演（日本薬剤学会奨励賞）

6月1日(金) 9:35～9:55 第1会場

座長：山本 昌（京都薬科大学）

生体分子の高機能化に基づく製剤設計を活用したDDS開発

勝見 英正

（京都薬科大学 薬剤学分野）

受賞講演（日本薬剤学会奨励賞）

6月1日(金) 9:55～10:15 第1会場

座長：高倉 喜信（京都大学）

遺伝子・核酸医薬品のデリバリー戦略の開発に関する研究

高橋 有己

（京都大学大学院 薬学研究科）

受賞講演（旭化成創剤開発技術賞）

6月1日(金) 10:15～10:35 第1会場

座長：伊吹 リン太（立命館大学）

「プレタールアシストシステム」の開発

○原 好男¹、深谷 志保¹、大野 啓²

（¹大塚製薬株式会社、²大塚メディカルデバイス株式会社）

受賞講演(旭化成創薬研究奨励賞)

6月1日(金) 10:35~10:55 第1会場

座長：岡本 浩一 (名城大学)

噴霧急速凍結乾燥技術を基盤とした肺深部送達型吸入粉末剤の開発とその応用

奥田 知将

(名城大学 薬学部)

受賞講演(永井記念国際女性科学者賞)

6月1日(金) 10:55~11:25 第1会場

座長：原島 秀吉 (北海道大学)

革新的医薬品の早期実用化に向けた取り組み

加藤 くみ子

(国立医薬品食品衛生研究所 薬品部)

受賞講演(タケルアヤヒグチ記念栄誉講演賞)

6月1日(金) 11:25~11:55 第1会場

座長：佐久間 信至 (摂南大学)

DESIGN OF SMART MACROMOLECULAR THERAPEUTICS

Jindřich Kopeček

(Department of Pharmaceutics and Pharmaceutical Chemistry, College of Pharmacy,
University of Utah)

学術シンポジウム1「ユニバーサルデザインと製剤開発」

5月30日(水) 9:30～11:30 第2会場

オーガナイザー：内田 享弘 (武庫川女子大学)
箱守 正志 (アステラス製薬株式会社)

アクセシブルデザインと国際標準化

○伊藤 納奈、佐川 賢
(産業技術総合研究所)

経口製剤開発とユニバーサルデザイン

高石 勇希
(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

吸入剤開発とユニバーサルデザイン

○佐藤 哲也、高橋 由美、改田 知宏、西口 修平
(大塚製薬株式会社 製剤研究所)

医療現場で求められるユニバーサルデザインの現状と課題

丸山 徹
(熊本大学 薬学部 薬剤学分野)

学術シンポジウム2「微粒子製剤設計と医薬品開発～現状と将来展望～」

5月30日(水) 16:00～18:00 第2会場

オーガナイザー：山本 浩充 (愛知学院大学)
丹羽 敏幸 (名城大学)

多機能性エンベロープ型ナノ構造体の開発とナノ医療への展開： ナノ医療の現状と今後の展開

原島 秀吉
(北海道大学大学院 薬学研究院)

超微細加工技術の医療応用への課題

加藤 くみ子
(国立医薬品食品衛生研究所 薬品部)

統合失調症治療薬の開発における微粒子製剤設計の応用について ーヤンセンファーマの事例紹介ー

若松 昭秀
(ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部)

学術シンポジウム3「ポリファーマシー（多剤服用）について考える」

5月31日(木) 16:30~18:30 第2会場

オーガナイザー：佐々木 忠徳（昭和大学）
内田 享弘（武庫川女子大学）

医療経済の観点から見た多剤併用解消の効果とその解消に向けた施策

中村 洋
（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科）

高齢者薬物療法とポリファーマシー対策

竹屋 泰
（大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学）

高齢者の医薬品適正使用に対する薬剤師の役割と高齢者薬物療法適正化チーム

溝神 文博
（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部）

在宅医療におけるポリファーマシーの現状と解決策

加藤 肇
（一般社団法人 品川薬剤師会）

学術シンポジウム4「次世代ワクチン・免疫療法開発における創薬・創剤研究」

5月30日(水) 15:45~18:15 第1会場

オーガナイザー：岡田 直貴（大阪大学）
座 長：角田 慎一（神戸学院大学）

経皮投与デバイスを用いた貼るワクチン・免疫療法の開発

岡田 直貴
（大阪大学大学院 薬学研究科）

不活化経鼻インフルエンザワクチンと分泌型IgA抗体

長谷川 秀樹
（国立感染症研究所 感染病理部）

ワクチンアジュバント開発研究：対感染症からがん、アレルギーへの新展開

石井 健^{1,2}
（¹医薬基盤健康栄養研究所 ワクチンアジュバント研究センター、
²大阪大学 免疫フロンティア研究センター）

TNFR2シグナルの免疫制御・がん免疫療法の標的としての可能性

角田 慎一
（神戸学院大学 薬学部）

多機能性免疫誘導型がんワクチン「人工アジュバントベクター細胞」の開発

藤井 眞一郎
（理化学研究所 統合生命医科学研究センター[IMS] 免疫細胞治療研究チーム）

学術シンポジウム5「口腔内崩壊錠 一潮流・技術と展望一」

6月1日(金) 13:15~15:15 第1会場

オーガナイザー：榎野 正 (マキノ製剤技術研究所)
増田 義典 (耕薬研究所)

クスリ新時代を拓いた口腔内崩壊錠の潮流

増田 義典
(耕薬研究所)

口腔内崩壊錠の創生とビジネス展開

水本 隆雄
(アステラス製薬株式会社 製薬技術本部)

口腔内崩壊錠一潮流・技術・展望一

榎野 正
(株式会社菊水製作所)

微粒子コーティング技術

山崎 淳治
(全星薬品工業株式会社)

インクジェット錠剤印刷技術

内田 直樹
(株式会社SCREENホールディングス)

特別企画シンポジウム1 日本薬学会と日本薬剤学会との融合「次世代創薬”核酸医薬”イノベーション」

5月30日(水) 9:30~11:30 第1会場

オーガナイザー：高倉 喜信 (京都大学)
尾上 誠良 (静岡県立大学)

核酸医薬実用化のための課題：化学的側面から

佐々木 茂貴
(九州大学大学院 薬学研究院)

核酸医薬のDDS

○奥 直人^{1,2}、浅井 知浩²
(¹帝京大学 薬学部、²静岡県立大学 薬学部)

核酸医薬品の規制整備の現状

井上 貴雄
(国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部第2室(核酸医薬室))

ENAオリゴヌクレオチドを用いた核酸医薬の研究開発

小泉 誠
(第一三共株式会社 モダリティ研究所)

特別企画シンポジウム2 日本医療薬学会と日本薬剤学会との融合「医療現場で必要とされる実践的製剤の設計と機能性評価」

5月31日(木) 9:15~11:15 第1会場

オーガナイザー：尾関 哲也 (名古屋市立大学)
菅原 満 (北海道大学)

Opening Remarks

佐々木 均
(長崎大学病院 薬剤部)

医療現場におけるクラスIII院内製剤の評価

大谷 道輝
(杏雲堂病院)

大学から発信する”Evidence Based Hospital Formulation (EBHF)”

○花輪 剛久、河野 弥生
(東京理科大学 薬学部)

化学・放射線療法誘発性の口腔粘膜炎の疼痛緩和を目的としたインドメタシンスプレーの有効性と安全性評価

百 賢二
(東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部)

実臨床で求められる製剤

佐々木 忠徳
(昭和大学 薬学部)

特別企画シンポジウム3「最近の中国の製薬関連情報」

5月31日(木) 16:30~18:30 第1会場

オーガナイザー：砂田 久一（名城大学）

最近の中国の製薬関連情報の概要

砂田 久一

（名城大学 薬学部）

中国における「口腔内崩解錠」の現状と展望

○馬 俊、彭 瀟波、侯 代松

（深圳万和製薬 研究開発部）

中国のジェネリック医薬品の再評価と医薬品審査承認制度の進歩

崔 福徳

（瀋陽薬科大学 薬学部）

ラウンドテーブルセッション1「経皮適用製剤技術の発展における薬剤学と化粧品科学の相乗的効果を考える」

5月30日(水) 9:30～11:30 第3会場

オーガナイザー：徳留 嘉寛 (城西大学)
藤井 まき子 (日本大学)

環境因子が皮膚に及ぼす酸化ストレスとその生理学的意味

正木 仁
(東京工科大学 応用生物学部)

水による角層構造の変化と機能への影響

岩井 一郎
(株式会社サティス製薬)

ヒアルロン酸を経皮吸収させる新剤形

徳留 嘉寛
(城西大学 薬学部)

ラウンドテーブルセッション2「製剤処方検討に最適な実験動物を考える～Dog or other animals?」

5月30日(水) 16:00～18:00 第3会場

オーガナイザー：近藤 啓 (静岡県立大学)
山下 伸二 (摂南大学)

はじめに

山下 伸二
(摂南大学 薬学部)

In silico M&S技術と動物実験に基づく経口投与製剤の設計

○室 篤志、上林 敦
(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

製剤開発のための動物実験法～イヌの胃酸度調整法の新提案～

村野 美佳
(大日本住友製薬株式会社 技術研究本部 製剤研究所)

ラウンドテーブルセッション3「経口吸収研究の未来予想図 ～Keep Running & Challenging～」

5月31日(木) 9:15～11:15 第2会場

オーガナイザー：片岡 誠 (摂南大学)
亀井 敬泰 (神戸学院大学)

タンパク質・ペプチド薬物の経口吸収促進戦略

亀井 敬泰
(神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室)

バイオ医薬品の経口投与型DDS開発を目指した小腸透過性環状ペプチドの同定と有効性評価

伊藤 慎悟
(熊本大学大学院 生命科学研究部(薬) 微生物薬学分野)

微粒子キャリアによる高分子医薬の経口デリバリー

○田原 耕平、竹内 洋文
(岐阜薬科大学)

ラウンドテーブルセッション4「核酸医薬の実用化を加速するデリバリー戦略とレギュラトリーサイエンスについて考える」

5月31日(木) 16:30～18:30 第3会場

オーガナイザー：石原 比呂之 (エーザイ(株))
井上 貴雄 (国立医薬品食品衛生研究所)

核酸医薬開発の現状と趣旨説明

石原 比呂之
(エーザイ株式会社 ナノメディスン研究室)

核酸医薬品の開発動向と課題

井上 貴雄
(国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部第2室(核酸医薬室))

企業における核酸医薬デリバリー技術研究の変遷と今後について

菊池 寛
(エーザイ株式会社 筑波研究所)

ラウンドテーブルセッション5「溶けたらいいものではない！難水溶性薬物の経口吸収改善を確実に達成するための製剤設計と吸収予測」

6月1日(金) 9:15~11:15 第3会場

オーガナイザー：川上 亘作 (物質・材料研究機構)
鈴木 恭介 (第一三共RDノバーレ(株))

過飽和溶液中における液液相分離現象について

及川 倫徳
(沢井製薬株式会社 製剤研究部)

過飽和状態における液-液相分離と膜透過性の関係

吹上 雅文
(小野薬品工業株式会社 製剤研究部)

非晶質固体分散体の経口吸収予測

川上 亘作
(物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点)

ラウンドテーブルセッション6「薬物相互作用・個別化医療FGの今後を問うーフォーカスグループへの期待と課題」

6月1日(金) 13:15~15:15 第3会場

オーガナイザー：米澤 淳 (京都大学)
内田 信也 (静岡県立大学)

薬物相互作用・個別化医療FGに課せられた次の使命は？

前田 和哉
(東京大学大学院 薬学系研究科)

臨床における薬物間相互作用と個別化医療

米澤 淳
(京都大学大学院 薬学研究科)

薬物動態の変動要因としての疾病

山村 直敏
(第一三共株式会社 薬物動態研究所)

薬物相互作用に関する定量的予測の現状および今後の課題：開発化合物を例に

山崎 慎司
(Pfizer La Jolla Laboratories)

薬学教育シンポジウム「次世代の薬剤学教員を求め」

6月1日(金) 9:15~11:15 第2会場

オーガナイザー：藤田 卓也 (立命館大学)
岩城 正宏 (近畿大学)

次世代の薬剤学教員を求め：新しい薬学教育からの薬剤学研究者を！

藤田 卓也

(立命館大学 薬学部 分子薬物動態学研究室)

今こそ6年制薬学教育の一本化へ：

足並み揃わぬ国公立/私立大学教育とその研究者育成への影響

白坂 善之

(東京薬科大学 薬学部)

今、あなたに伝えたい薬剤学教員の魅力

西川 元也

(東京理科大学 薬学部)

6月1日(金) 13:15～15:15 第2会場

オーガナイザー：安東 幸弘（第一三共株式会社）

座長：久保田 清（中央商工株式会社）

世界における偽造医薬品の現状とその流通防止対策としての医薬品包装

谷本 剛

（医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団）

座長：本間 尚（大正製薬株式会社）

医薬品流通の仕組みと流通からみた医薬品包装について

鈴木 竜太

（東邦ホールディングス株式会社）

座長：田村 巧己（エーザイ株式会社）

服薬管理と見守りを支援するIoT機器「eお薬さん」のご紹介

辻本 道彦

（エーザイ株式会社）

5月31日(木) 9:15～11:15 第3会場

オーガナイザー：田仲 涼真 (武蔵野大学)

バイオフィーム感染症治療を目的とした高分子DDSナノ粒子製剤の設計

○松原 庸博、高橋 知里、小川 法子、川嶋 嘉明、山本 浩充
(愛知学院大学 薬学部 製剤学講座)

PEG脂質を介した細胞表面への単鎖抗体修飾による細胞接着増強

○山田 創太¹、樋口 ゆり子¹、杉田 かおり¹、橋田 充²、山下 富義¹
(¹京都大学大学院 薬学研究科、²京都大学高等研究院物質-細胞統合システム拠点)

安全な細胞移植治療の実現に向けた細胞増殖制御法の開発

○辻村 真里¹、草森 浩輔¹、勝見 英正²、坂根 稔康³、山本 昌²、
西川 元也¹
(¹東京理科大学 薬学部、²京都薬科大学 薬剤学分野、³神戸薬科大学 製剤学研究室)

WORK SHIFT～製剤研究を通して変化したこと～

林 祥弘
(富山大学 製剤設計学講座)